

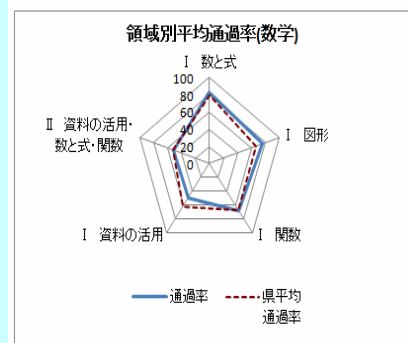
「基礎・基本」定着状況調査本年度通過率 (本校72.3%, 県70.2%)

対県比 103%

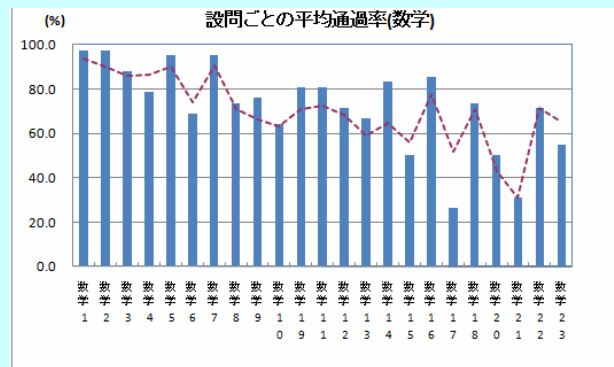
全国学力・学習状況調査 本年度正答率

本年度の結果について

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



A問題

本校 63.5%
全国 67.4%
県 68.4%

B問題

本校 56.6%
全国 59.8%
県 60.5%

・「基礎・基本」定着状況調査においては、通過率72.3%で県平均を上回った。しかし、タイプIIの自分の考えや問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。
・全国学力状況調査においては、A問題、B問題ともに県平均を下回り、「数と式」「関数」の領域に課題がある。

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値

対全国比

105%

重点課題

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査

- ①最頻値の意味を理解していない。(通過率26.2%、県51.0%)
- ②表より与えられた数値や情報を読み取り、自分の考えを数学的な表現を用いて説明することに課題がある。(本校31.0%、県31.2%)

【課題2】全国学力・学習状況調査

- ①比例の関係を式に表すことができない。(通過率32.4%、県56.9%)
- ②与えられた説明の筋道を読み取り、目的に応じて式を変形させることに課題がある。(通過率32.4%、県61.2%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査

- ・資料の活用において、度数分布表、相対度数、最頻値の用語の定義をしっかりと教えるとともに、目的に応じてデータの傾向や特徴について、代表値を使って説明する活動を充実させる。
- ・普段から、さまざまな解法について考えを出し合う授業構成を図るようにする。

【課題2】全国学力・学習状況調査

- ・変数と比例定数の意味の理解を深め、比例定数を求める場面を設定する。また、表やグラフに表し、比例定数について見直す活動を取り入れ、比例定数の意味の理解を深める。
- ・問題解決の方法に焦点を当て、何をどのように用いればよいかを明らかにできるように指導する。

| 「基礎・基本」定着状況調査 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---------------|----|----------|-----|----------|----|---------------------|----------|
| 学年・方法 | | 2年中間テスト | | 2年期末テスト | | H26「基礎・基本」定着状況調査 1年 | 2年学年末テスト |
| 目標値 | | ①60%②50% | | ①70%②60% | | ①70%②70% | ①80%②80% |
| 実施後数値 | | | | | | | |

| 全国学力・学習状況調査 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------------|----|----------|-----|-----|----|------------------|----|
| 学年・方法 | | 3年中間テスト | | | | H26全国学力学習状況調査 2年 | |
| 目標値 | | ①60%②60% | | | | A問題 70% | |
| 実施後数値 | | | | | | | |